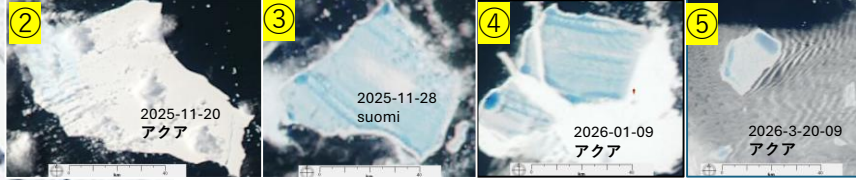




# YACかわら版 692

きよなら? A23A



⑥ 氷山A23の移動表

年月日	位置	長さ (km)	幅 (km)	面積 (km <sup>2</sup> )
2011年11月16日	-75.85, -41.13	不明	不明	約3,900推定
2014年11月7日	-75.88, -41.17	81	74	不明
2014年11月24日	-62.82, -52.44	81	59	
2023年4月5日	-58.9, -44.8	81	59	3464.0
2025年3月21日	-54.81, -39.07	74	59	
2025年7月24日	-56.32, -33.31	74	59	2509.5
2026年1月23日	-52.31, -41.49	48	40	531.86
2026年3月20日	-48.95, -31.79	16	12	140.61

⑦ 氷山A23の移動図

⑧ 3月20日発表A23 関係情報

氷山	大きさ (海里)	位置	面積 (平方海里)
A23A	9 x 7	南緯48度57分 / 西経31度47分	41
A23K	10 x 7	南緯50度08分 / 西経34度26分	42.1

⑨ 2011年11月16日以降のNIC情報やNASAワールドビューも使用して情報を整理しました。

- ・ワールドビューで衛星データでA23 Aの大きさの変化を確認しました。①～⑤
- ・\*ワールドビューからダウンロード →EISEI→メルカトル図法に変換
- ③④⑤の水色部分は氷山が溶けている部分 氷山表面の筋の方向が気になります。
- ③ではA23Aの縁を囲むような白いものがみえます。
- ④は周辺に白波がたっているようにみえますし、西側に氷山が分離しかかっています。
- ①と⑤との大きさの差異に驚きます。
- ・サウスジョージア島周辺の水温は、観光情報誌等では、平均水温は1℃未満～3℃と紹介されています。
- earth.nullschool.netサイトで確認しました。
- ④周辺海面 (-54.8,-39.04) : 2025-05-03 1.2℃
- ⑤周辺海面 (-53.00,-40.22) : 2025-12-20 3.1℃
- ・1月30日以降、A23AはA23Kと分かれた様子を、ワールドビューを利用した位置説明図を作成しました。⑩

A23氷山は、巨大な氷山を示すメガバーク (Megabergs) とよばれたこともあります。アメリカ氷センター (NIC) が氷山情報の蛇口です。面積が20平方海里(約68.6平方km) 以上、または最長軸が10海里 (約18.5km) 以上の氷山に命名し追跡しています。

3月20日のA23 関係情報は別表の通りです。⑧

A23は1986年にフィルヒナー・ロンネ棚氷から分離しました。A23はA23B～A23Kまで10個の氷山を分離しています。現在ではA23Kの方がA23Aより大きいです。A23Aは1月中旬から小さくなっています ⑨

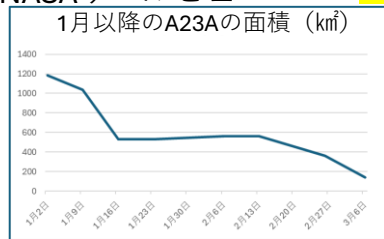
2011年11月16日以降のNIC情報やNASAワールドビューも使用して情報を整理しました。

A23AとA23Kとに分かれた後、2つの氷山の位置がずいぶん離れていることに驚きます。氷山の海面下の形状と大きさの違いが、海流や風の影響に差異があったのでしょうか。不思議ですね。⑩

・氷山の衛星の映像では、長さや幅が変化しているのに、NICデータでは面積が同一のケースがあります。

⑨のグラフでは、氷山の面積が増えている場所もあります。NICデータの長さ・幅・面積・位置の算出方法を確認してみましょう。

・A24Aは、NICの表にいつまで掲載されるのでしょうか。



A23AとA23K

名前	長さ (海里)	幅 (海里)	緯度	経度	位置	面積 (km <sup>2</sup> )	掲載日
A23A	26	22	-51.64	-41.41	-51.64,-41.41	560.91	01/30/2026
A23A	26	22	-49.76	-40.26	-49.76,-40.26	560.91	02/06/2026
A23K	11	8	-51.96	-41.09	-51.96,-41.09	172.55	
A23A	26	22	-48.95	-40.64	-48.95,-40.64	560.91	02/13/2026
A23K	11	8	-50.79	-40.03	-50.79,-40.03	172.55	
A23A	26	22	-48.02	-34.61	-48.02,-34.61	560.91	02/19/2026
A23K	11	8	-50.9	-39.02	-50.9,-39.02	172.55	
A23A	14	12	-47.17	-31.83	-47.17,-31.83	359.93	
A23K	10	7	-51.34	-37.39	-51.34,-37.39	152.24	02/26/2026
A23A	9	7	-48.6	-33.43	-48.6,-33.43	140.61	
A23K	10	7	-51.04	-35.36	-51.04,-35.36	144.41	03/06/2026
A23A	9	7	-48.95	-31.79	-48.95,-31.79	140.61	
A23K	10	7	-50.87	-35.13	-50.87,-35.13	144.41	03/13/2026
A23A	9	7	-48.95	-31.79	-48.95,-31.79	140.61	
A23K	10	7	-50.14	-34.43	-50.14,-34.43	144.41	03/20/2026



北海道の流氷を巡って、流氷が解ける際にプランクトンの餌として放出され、微細藻類が繁茂することが知られています。氷山の場合も同じような現象が知られています。コペルニクスブラウザを使用する、センチネ3ルデータから、藻類色素濃度の測度が得られます。今後紹介する予定です。